

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 ホテル向ウォシュレット一体形便器（TCF922系）用

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。（メンテナンス性向上のため）特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

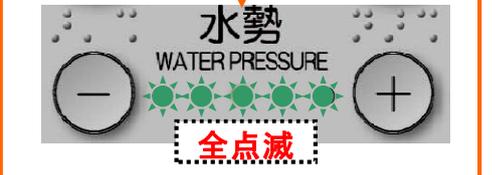
2. 連立トイレの配置例

正 規 品	（タイ 1 プ ） 1	（タイ 2 プ ） 2	正 規 品	（タイ 1 プ ） 1	（タイ 2 プ ） 2
（タイ 3 プ ） 3	（タイ 4 プ ） 4	（タイ 5 プ ） 5	（タイ 3 プ ） 3	（タイ 4 プ ） 4	（タイ 5 プ ） 5

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

<<リモコン側の設定方法>>

リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)

手順		
1	<p>リモコンの  スイッチを10秒以上押し続ける</p> <p>⇒10秒後に水勢調節ランプが全点灯します</p> <p></p> <p>スイッチから指を離すと、水勢調節ランプが</p> <p>全点滅(4回)します</p>	 <p>◆品番によりイラストが異なります</p>  <p>全点灯</p>  <p>全点滅</p>
2	<p>水勢ランプが全点滅に切り替わってから</p> <p>点滅4回以内に  スイッチを5秒以上押す</p> <p></p> <p>5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します</p> <p>※全点滅5回以上で「ビデ」スイッチを押した場合は水勢調節LEDは全点滅を継続し、連立設置特設定モードへは移りません。 一旦、「止」スイッチを押し待機状態にして最初からやり直して下さい</p>	 <p>◆品番によりイラストが異なります</p>

手順

リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)

水勢調節の  か  を押すたびに水勢ランプが下表の様に切り替わります。

 を押すと「標準」から「特1」「特2」…へ、 を押すと「標準」から「特14」「特13」…へと

切り替わります。

3

設定コード	水勢ランプ表示状態	設定コード	水勢ランプ表示状態	設定コード	水勢ランプ表示状態
標準		特5		特10	
特1		特6		特11	
特2		特7		特12	
特3		特8		特13	
特4		特9		特14	

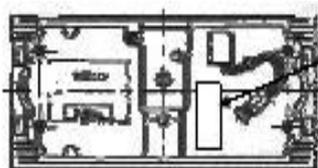
4

設定完了後  スイッチを押すと待機状態に戻ります。

5

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

6



コードラベル

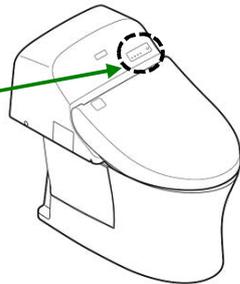
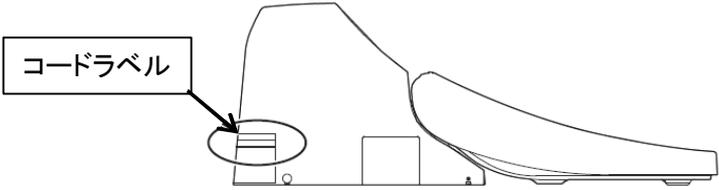
切替え後、リモコンをはずして、特殊コードラベルをフレームに貼り付けてください。
(リモコンは吸盤ではずしてください。)

※ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順	リモコン特殊コード切り替え方法																																																																								
1	<p>ウォシュレット本体の電源が入っていることを確認し、便座の右側を手で10秒以内に10回押します。 ⇒設定モードに入ります</p>  <p>10回押す (10秒以内) やわらかい布 (水でぬらしてよくしぼってください。)</p>																																																																								
2	<p>リモコンの  スイッチを「10秒以内に5回」押します。</p>																																																																								
3	<p>ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅します。 (電子音「切」設定時は電子音が鳴らないため設定状態は下表の点滅に従って確認ください。)</p> <p>* 便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。 理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">本体表示部</td> <td colspan="10">★…緑点滅 ●…橙点滅 ×…消灯</td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準</td> <td>特1</td> <td>特2</td> <td>特3</td> <td>特4</td> <td>特5</td> <td>特6</td> <td>特7*</td> <td>特8*</td> <td>特9*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>温水</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>節電</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </table> 	本体表示部		★…緑点滅 ●…橙点滅 ×…消灯											標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*		運転	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★		便座	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×		温水	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		節電	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●	
本体表示部		★…緑点滅 ●…橙点滅 ×…消灯																																																																							
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*																																																															
運転	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★																																																															
便座	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×																																																															
温水	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																																															
節電	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●																																																															
4	<p>■下記の操作で現在の連立設定状態を確認することができます。</p> <p>①リモコン  +  を10秒間押す</p> <p>②リモコンランプ全点滅</p> <p>③リモコン  +  を同時押しする</p> <p>④ウォシュレット本体ランプ5秒間点滅(『手順8』の表に従って点滅します。)</p> <p>⑤リモコン  を押す</p>																																																																								
5	<p>ウォシュレット本体の側面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>  <p>コードラベル</p>																																																																								

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)